



任意団体 公害資料館ネットワーク

## 公害教育の発信 公害資料館を足場として

一般助成

1年目

知識の提供・  
普及啓発

フォーラム参加者 162人

研究会開催

3回

活動の全体目標に  
対する達成度

40%

### 課 題

- 現場と公害資料館と研究者が協働して、情報を整理して発信
- 公害からの学びをESD的に組み立て直す
- 公害にかかる基礎情報のアクセスの整備

### 活動内容

全国各地の公害を題材とし、地域の状況をふまえながら、関係主体の合意形成を経て持続可能な社会へと導くための学びのプロセスを日本環境教育学会などの学術団体と学術的に整理し、あわせて公害資料館のあり方を検討する。一連の議論と作業の成果は冊子の作成、全国集会(フォーラム)を通じて発信していく。



フォーラム全体会の様子

### 今後の課題

- 人権教育分野との対話。
- SDGsと公害教育の関連性を明確にする。

### 成果と工夫した ポイント



#### 成果

水俣で開催した公害資料館連携フォーラムは、参加者が162名という数字となり、目標の200人には達成しなかったが、他分野の参加から、公害教育の可能性と希望を多くの人と共有することとなった。

#### 工夫

フォーラムの開催において、実行委員会形式を採用して、現地の意見を最大限に生かしたこと。